

令和5年度
外国人教員短期招へいプログラム実施報告書

令和5年 10月 17日

三重大学長 殿

招へい期間における実施報告書を、添付のとおり提出いたします。

1. 被招へい者 所属・氏名 ゲーテ大学フランクフルト アンドレ・ポツィアスキ
2. 受入研究者 所属・職・氏名 国際交流センター 准教授 松岡知津子
3. 招へい期間 令和5年 9月 28日 ~ 令和 5年 10月 14日
4. 活動実施の内容とその成果 (注) 任意の形式(ただしA4サイズ)にて作成したものを添付してください。写真等の記録も添付してください。

4. 活動実施の内容とその成果

【初級日本事情における講義×2回】

国際交流センターが実施する留学生向けのクラス「初級日本事情」において、2023年10月4日および11日の2回にわたって、(1) 役割語について (2) 変体仮名及び日本の妖怪についての講義を実施した。受講生は国際交流センターで日本語を学ぶ留学生7名であり、日本語レベルは初級程度である。講師は日本語と英語を交えて講義を行い、受講生からも日本語と英語で積極的に質問されていた。講師が元三重大学生であったことから、講義終了後も当時の留学生活に関することや留学そのものについて、その後の経歴等様々な点において質問がなされ、参加学生たちにとって大変有意義な時間となった。



ポツィアスキ氏による講義の様子(2023年10月11日)

【字幕ワークショップの開催】

2023年10月12日、日本語レベル中級程度の留学生約30名を対象に、日本語から英語等への翻訳及び字幕を付けるワークショップを開催した。受講生は2～3人ごとにパソコンを1台準備し、講師が準備したプログラムを使って「タイミングを合わせる」「文字数を調整する」「文字のフォントを変更する」といった字幕付けに必要なステップを理解し、実際に字幕を付ける活動を行った。その後、いくつかのグループが成果を発表した。日本語を学ぶ学生たちの中には、将来翻訳家を目指すものもあり、積極的に取り組んでいた。また、留学生の先輩として、進路に関する相談を受けたり、留学中の有意義な過ごし方等についてアドバイスを行ったりした。



字幕ワークショップの様子(2023年10月12日)

【COILの実施】

招聘期間終了後の令和6年1月～2月、国際理解実践「海外フィールド研修」においてポツィアスキ氏の所属先であるゲーテ大学フランクフルトとCOIL授業(非同期型)を実施した。具体的には本学日本人学生が作成した日本語学習者向けビデオコンテンツをゲーテ大学学生が視聴し、「理解度」「内容」「説明の分かりやすさ」といった観点についてフィードバックを行った。